



ナポレオンが見た

エジプト×ペリー

が見た日本

令和元年5月20日(月)～12月21日(土)

聖徳大学 8号館1階 企画展示ギャラリー

開館時間:午前9時～午後5時

休館日:日曜・祝日、及び、学事日程による休業日

アクセス:JR松戸駅下車、東口より徒歩5分

(車での来場はご遠慮ください。)



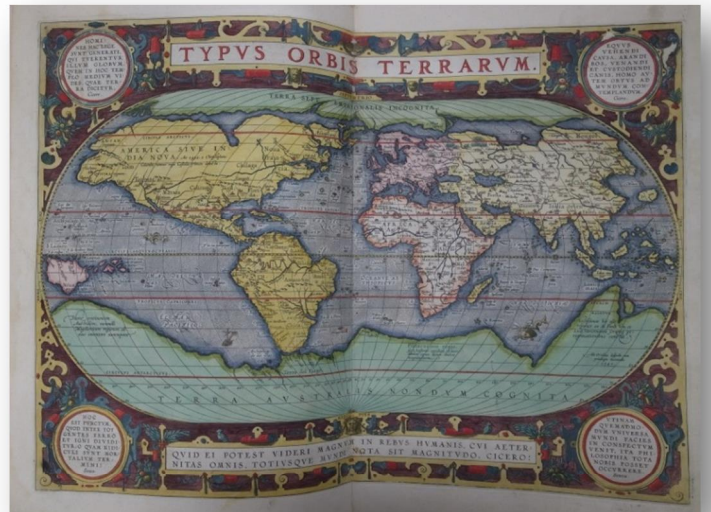
「ナポレオンが見たエジプト×ペリーが見た日本」

若きナポレオンが1798年にフランス軍を率いてエジプトに遠征した際の学術調査報告書『エジプト誌』は、世界最大級の書物でもあります。イギリス軍に敗れたため、有名なロゼッタストーンほか収集品のほとんどがイギリスに渡りましたが、フランスでは精緻な銅版画を多数含んだ『エジプト誌』全22巻が作られました。また、幕末の日本にアメリカ海軍の艦隊を率いてやってきたペリー提督は、浦賀や函館などの寄港地を調査し、全3巻の報告書『日本遠征記』を合衆国議会に提出しました。今回の展覧会では、このほか、古い旅の物語や地図、航海記録、小説など、旅にまつわる資料を紹介いたします。

『エジプト誌』1809～1812年 106×67cmの超大型本を含む全22巻にはエジプトの考古・美術・博物等を克明に記録した839枚の銅版画が収められている。

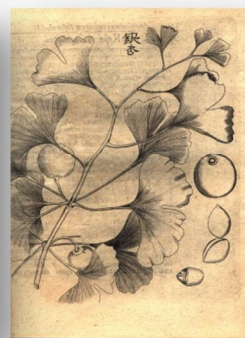
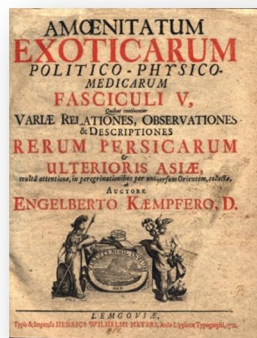


オルテリウス『世界の舞台』1595年 オルテリウスによって1570年に刊行された世界地図帳。“地図帳時代”の幕開けとなった。40回近く改版を重ね1612年まで出版され続けた。



ペリー『日本遠征記』1865年

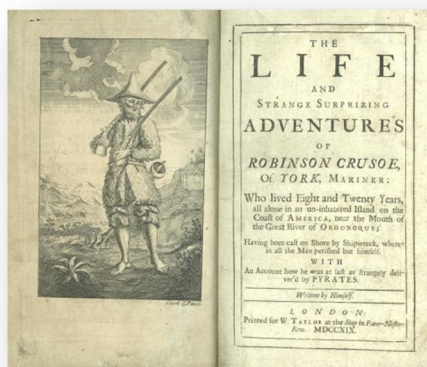
東インド艦隊による遠征の記録には多くの図版が含まれているほか、日米和親条約(神奈川条約)も収録されている。



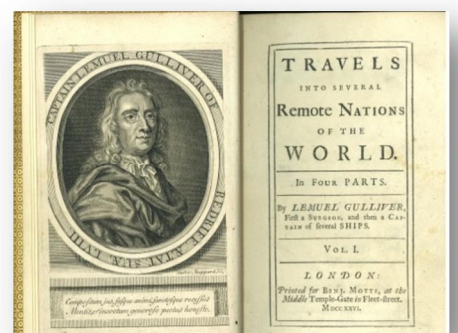
ケンペル『廻国奇観』1712年

ドイツ人医師として長崎・出島に滞在したケンペルが、帰国後にアジア各地での見聞を記した本。第5章では200種を超える日本の植物が紹介されている。

デフォー『ロビンソン・クルーソー 漂流記』1719年



スウィフト『ガリバー旅行記』1726年



亞墨利加合衆國と帝國日本兩國
 約條 約條
 此人民誠實不朽の親睦を以て
 兩國人民の交親を肯と一向違
 守と條相立ひ為合衆國より全權
 マネカレト(ペリー)人を日本ホ差越一